

くだものや
『果物屋の広告文』

なかむらかれ
仲村渠作

1

今晚は、みなさん。

とりわけ果実をお好きな御婦人がたに申し上げるのでございます。

くだものてん

手前からは今夜 果物店をひろげたのでございます。

2

この真夜中にガス燈ひとつつけずとも はい この通り 手前どもの果実はつやつやと光沢がよいのでございます。

さあさあ、なんなりとひとつ、

3

このすばらしいザボンの出来はどうでございませう。

この首かざりにした紫真珠。葡萄はいかがでございませう。

4

雪国のお方には このまだほてっているバナナの房がよろしゅうございませう。

5

南の方のおかたには この涼しい一粒の梨をさしあげるでございませう。

6

特に故郷を恋しがっていらっしやるお方には ここに蒸し立ての栗も用意してございませう。

7

大輪のザクロも割れたばかり 夜露に濡れて笑っているでございませう。

8

はい。これはパパヤで。御覧の通りもぎたてで。したたるお乳はまるで蟬涙のようでございます。はい。このお乳で 酋長のひとり娘は お湯を使うのだそうでございます。

9

はいはい。椰子の実もありますでございます。おさとい お方には猿の臭いがいたしますのはいたし方がないのでございます。

10 暑がりの お方さまはこのスイカの湯船におつむをおひたしになればよろしゅうございます。

11 一口で喉のどのおかわきを癒いす お方にはこのよく熟うれた柿の実は いかがでございますしよう。 はい おおせのとおり 氷ひよりのう囊のうにつつんだ生き血ちのようでございます。

12 はいはい ごもつともちまで。

それではこのうぶ毛のはえた水蜜桃すいみつとうはいかがでございますしよう。

はい。その青いところが丁度ちやうどよろしいのでございます。

13 ここにネーブルスミカンもございます。
まだチレニヤ海の潮風がついてすっぱい。

この凜り々りしい舌ざわりが よろしいのでございます。

14 はいはい。たしかにリュウガンもございました。

はい お眼めをおつむりになり 舌の上におおせになって一口に吸うものなのでございます。

15 すべて手前どもの果物は決して皮をむく必要がないのでございます。
手前どもの果物は お買上げと同時にお召し上りにならないと すぐにくさってしまうのが特徴なのでございます。

16 さあさあ 何なりとひとつ

今夜 手前のからだか果物屋をひろげたのでございます。

17 さあさあ この磨きのきいた林檎の一個から買っていたきたいのでございます。

さあさあ 冷めたい前歯でかつぷりと はい 腫はれものようにうづくトマトでございます。
います。